

平成 24 年度 事業報告

自：平成 24 年 4 月 1 日～至：平成 25 年 3 月 31 日

1. 公益目的事業

関西吟詩文化協会は、「詩歌吟詠を通じて、わが国の文化の発展に寄与し、継承する」ために、次の事業を行った。

公益目的 1 伝統芸能である詩歌吟詠の普及推進事業

詩歌・吟詠の吟詠発表会を開催し、日本国民に日本伝統芸能の琴線に触れ感動を与え、吟詠文化の振興発展の為の事業、その目的達成の為の教本作成頒布並びに広報活動としての機関誌発行・ホームページなどの事業を行った。

(1) 吟詠普及推進事業吟詠大会（一般来聴公募）

関西吟詩の優れた吟詠を披露し、吟詠のすばらしさを広く不特定多数の方々に紹介し、吟詠の普及をはかった。

① 吟詠普及推進吟詠研修大会

浜松地区大会・・・平成 24 年 6 月 3 日（日）

約 300 人参加（内一般会員他 200 人）

九州地区大会・・・平成 24 年 8 月 5 日（日）

約 200 人参加（内一般会員他 150 人）

岡山地区大会・・・平成 25 年 2 月 24 日（日）

約 180 人参加（内一般会員他 150 人）

② 吟詠普及推進全国吟詠大会（大阪）・・・平成 24 年 10 月 14 日（日）

約 1,250 人参加（内一般会員他 750 人）

(2) 周年記念大会の後援活動（一般来聴公募）

- ・ 関西吟詩創立 80 周年並びに公益社団法人認定祝賀会の
実行委員会を立上げる。
- ・ 各公認会等の記念大会等への後援

(3) 吟詠普及啓発活動の実施

① 青少年及び教育関係等に対する講師の派遣。

- ・ 小中学校での課外授業への積極的参加
- ・ 公認会などでの青少年詩吟教室開催への講師の派遣
- ・ 幼児、児童、生徒（義務教育）向け教本の提供

② 福祉施設・地域公民館活動に於ける吟詠普及活動の推進

③ 学校・図書館などへの吟詠資料提供。

- ・ 公的図書館及び学校の図書館に「教本」・「吟剣詩舞の DVD」の
提供

④ 他の文化団体とのコラボレーションへの積極的な参加

⑤ 路上ライブなどへの積極的参加

(4) 吟詠普及啓発活動助成事業

前項の各推進活動に対して、一定限度内で助成を行った。

- (5) 全国幼少年青年部吟詠大会 (一般来聴公募)
- ・平成25年3月24日(日) 於：四條畷市民ホール
 - ・約300名参加(内幼少年70人、青年部70人一般会員100人)
- (6) 電磁的公報、機関誌発行
- ① 吟詠普及の為のテレビ放映の実施
 - ・J・COM (有線放送) ビデオオンデマンドにて放映した。
 - ・チャリティー吟詠大会24 講成吟「勝 海舟」(大阪)
 - ・放映期間：平成24年12月1日から平成25年2月末まで
 - ・NHK大河ドラマ「八重の桜」で佐久間象山役の奥田瑛二氏に「漫述」の吟詠指導を行い、3月17日放映された。
 - ② ホームページでの吟詠普及
 - ・漢詩紹介・吟詠コーナー・動画コーナーを拡充し広く吟詠を紹介した。
 - ・特に若年層向けコーナーを設置し、幼少年・青年部の活動を紹介した。
 - ③ 機関誌「吟詩日本」を発行頒布した。(一般販売)
 - ・漢詩和歌の紹介、作詩法、応募の自作詩の掲載
 - ・「吟詩日本」発行 (157号、158号、159号、160号)
- (7) 教本発行 (一般販売)
- ① 教本冊子頒布

・教本絶句編	A1～A6	6冊(180題)
	単行本 A61～A64	(12題)
・教本律詩編	B1～B3	3冊(90題)
	単行本 B31～B33	(9題)
・教本古詩編	C1～C3	3冊(65題)
・教本和歌・俳句・新体詩	D1	1冊(30題)
	単行本 D11	1冊(3題)
・教本副読本(アクセント入り)		4句詩編
		6・8句詩編
		長詩編
・教本縮刷本		A(絶句編)
		B(律詩編)
		C(古詩編)
 - ② 新教本発行

律詩 B33(3題)

B33-1	「月対元九憶」	白居易
B33-2	「月夜」	杜甫
B33-3	「胡笳曲」	王昌齡
 - ③ 「たのしい吟詠」の配布 (無料提供用教材)

学校・福祉施設・地域公民館活動などでの吟詠普及活動用教本
(トレミファの譜面付)
- (8) 海外移動教室の開講・・・訪問国政情不安につき実施延期
- ・中国研修(石川忠久先生と漢詩の世界探訪)
 - 平成24年10月(計画)

(9)災害復興支援活動の実施

- ・東日本大震災支援の募金を行い、日本赤十字社に寄付した。

(10)公益事業推進の寄付金募集活動の実施

公益目的2 詩歌吟詠の技能向上を図り継承発展に寄与する事業

関西吟詩文化協会は、詩歌吟詠の技能向上を図り、より優れた吟詠を広く不特定多数の方々に吟詠を普及する為に、吟詠発声法の学理研究及び指導法・作詩法の研究を行い指導者を養成するとともに、競吟大会を通じて技能の向上を図った。

(1) 競吟大会の開催 (一般来聴歓迎)

- ① 全国新人中間層競吟大会 平成 24 年 11 月 23 日 (日) 於 : エイリック尼崎
参加者 600 名 出吟者 324 名
(予選大会) 大阪・九州・広島・岡山・四国・静岡・名古屋・京都・滋賀・奈良・和歌山・兵庫で開催した。
延出吟者約 2,000 人(内正会員なし)
- ② 全国準師範師範代競吟大会 平成 25 年 2 月 17 日 (日) 於 : 梅香殿
参加者 300 名 出吟者 157 名
(予選大会) 大阪・九州・中国・四国・東海・京都・滋賀・奈良・兵庫で開催し延出吟者約 1,000 人(内正会員なし)
- ③ 全国指導者級吟士権大会 平成 24 年 12 月 9 日 (日) 於 柏原市
参加者 270 名 出吟者 111 名
(予選大会) 同上の地域で開催し延出吟者約 600 人

(2) 昇段試験、昇格試験および研修会の実施

- ・内部規定に基づき各会において昇段試験を行った。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施した。

① 昇段試験は内部規定に基づき、各公認団体毎に実施し、総本部会長が認定した。

平成 24 年 7 月 1 日	昇段免許授与
平成 25 年 1 月 1 日	昇段免許授与

② 地方昇格試験を実施した。(師範・準師範・師範代)

福岡試験場	6 月 24 日
広島試験場	6 月 24 日
名古屋試験場	6 月 24 日

③ 昇格試験実施を実施した。(総本部試験場)

師 範	7 月 1 日
準師範	7 月 15 日
師範代	7 月 22 日

(昇格試験に合格したものには、9 月 1 日付で、9 月 9 日の東明祭において免許状を授与した。)

(3) 研修会の開催

吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き科学的発声法・作詩法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

① 吟詠研修会並びに推薦師範講習会

平成 24 年 6 月 17 日 (日) 於 エイリック(尼崎)

参加者約 240 人(内一般会員他 100 人)

② 吟詠普及推進吟詠研修大会

浜松地区大会・・・平成 24 年 6 月 3 日 (日)

約 300 人参加 (内一般会員他 200 人)

九州地区大会・・・平成 24 年 8 月 5 日 (日)

約 200 人参加 (内一般会員他 150 人)

岡山地区大会・・・平成 25 年 2 月 24 日 (日)

約 180 人参加 (内一般会員他 150 人)

③ 指導者研修会

- ・平成 25 年度師範昇格試験課題詩研修会

平成 24 年 9 月 2 日(日)

吟詠 6 題 和歌 3 題 360 人参加

- ・平成 25 年度準師範師範代昇格試験課題詩研修会

平成 24 年 12 月 2 日(日) 於エイリック(尼崎)

律詩 8 題 絶句 10 題 460 人参加

- ・新教本研修会

平成 24 年 5 月 13 日(日) 2 題 370 人参加

平成 24 年 9 月 9 日(日) 1 題 440 人参加

④ 吟道大学講座の開講

指導者の吟詠指導力の向上の為、専門講師を招き科学的発声法・関西吟詩文化協会の吟法・指導方法などの研修を行った。

- ・平成 25 年 1 月 26 日～27 日

- ・漢詩、作詩法、発声の学理・指導者の心構え・組織運営と活性化等の研修

参加者 151 人

⑤ 作詩講座 (一般公募)

作詩の講座を開催し、広く一般の方にも作詩を広めるとともに作詩技量の向上をはかった。

- ・毎月第 2 金曜日

午後 6 時～8 時 00 分迄

- ・年 12 回 (前期、後期に分けて)

- ・於 総本部 会議室 参加者数

延 600 名

⑥ 作詩添削

一般の方々にも呼びかけ、自作の漢詩を作詩の専門家による添削などの指導を行うとともに自作漢詩を機関誌に掲載し、作詩技量向上をはかった。

- ・ 4 回/年 延 参加者数 400 名

⑦ 漢詩鑑賞講座

- ・優れた漢詩、作者、歴史を研修する本講座を大阪地区連合会と共同で立ち上げた。

- ・ 2 回開催 参加者延べ 100 人。

(4) 研究会

時代に受け入れられる吟詠を目指し、吟詠法の研究を行うとともに、新しい教本を発行し、各種研修会の内容の充実を図るとともに、吟詠芸術を探究するな

どの研究を行った。

- ・ 教養指導部指導科会 13 回開催
- ・ 教養指導部教養科会 13 回開催
- ・ 秀詠グループ吟詠研究会 3 回開催

(5) 部会・委員会

広く不特定多数の人に、吟詠に関する調査・研究の成果および吟詠普及活動のための広報活動を行った。

- ・ 広報部 9 回開催
- ・ ホームページ委員会 11 回開催

吟詠普及推進事業の企画運営を行うとともに、将来の課題に対し対策案を提言活動を行った。

- ・ 企画渉外部 14 回開催

(6) 委員会

会員及び不特定多数の人への吟詠普及活動をより円滑に行う為委員会を設置し活動を行った。

- ・ 作詩添削委員会
- ・ その他特定検討委員会
- ・ 社団法人関西吟詩文化協会創立 80 周年及び
公益社団法人設立 1 周年記念大会実行委員会
- ・ 財政健全化検討委員会 9 月中間答申、3 月答申書作成
- ・ 法人体制整備委員会 9 月中間答申、3 月答申書作成

2. 収益事業

収益 1 主として会員向けに教材等を頒布する事業

吟詠普及活動の一助として参考図書・CD 等の頒布を行った。

(1) 参考図書販売

- ① 誰にでもできる漢詩の作り方 (太刀掛呂山著)
- ② 作詩便覧 宮崎東明編
- ③ 作者便覧 日本編 関西吟詩文化協会発行
中国編 関西吟詩文化協会発行

(2) CD の発売

俳句新体詩伴奏曲編
和漢名詩選(1)・(2)・・・(既存)
和歌俳句新体詩編・・・(新)
本部指導者研修会収録編

(3) カセットテープの発売

音階及び譜名表編

(4) DVD の頒布

国歌・関西吟詩会歌用伴奏編
「坂本龍馬」「高杉晋作」「李白」
「浮き真砂」・・・(既存)
「勝海舟」・・・(新)

収益2 吟詠の技量審査による段位認定並びに資格認定合格者に認定証(許證)を交付する事業

- ・内部規定に基づき昇段試験を行い合格者に段位認定証を授与した。
- ・内部規定に基づき師範代・準師範・師範の昇格試験を実施し合格者に指導者としての資格認定証を授与した。

(1) 昇段・昇格認定証(許證)交付事業

① 昇段免状授与

所定の昇段試験に合格した者に対し免状を授与した。

平成 24 年 7 月 1 日

平成 25 年 1 月 1 日

② 昇格資格者への免状の授与 (師範代・準師範・師範)

所定の昇格試験に合格した者に対し免状を授与した。

平成 24 年 9 月 1 日

③ 特別昇格 (上師範・高師範・総師範・宗範)

所定の昇格資格に従って特別昇格の免状を授与した。

平成 24 年 9 月 2 日

(2) 記章の販売

「宗帥・宗範・総師範・高師範・上師範・師範・準師範・師範代・会員」バッチの販売

3. 相互扶助事業

その他1 宮崎東明回忌法要及び詩吟関係の功労者等顕彰事業・新年互会事業

相互扶助等事業として、次の事業を行った。

- (1) 東明祭の開催 平成 24 年 9 月 9 日 (日)
- (2) 会員増員表彰 (個人、支部、会) 於 東明祭 平成 24 年 9 月 9 日 (日)
- (3) 敬老祝、成人祝 於 東明祭 平成 24 年 9 月 9 日 (日)
- (4) 新年互礼会 平成 25 年 1 月 13 日 (日)
- (5) 功労者等顕彰の実施 於 東明祭 平成 24 年 9 月 9 日 (日)
表 彰 吟功章 (上師範、高師範、総師範、宗範)
特別昇格 (上師範、高師範、総師範、宗範)

4. その他 (法人会計事業)

当協会の事業目的達成を円滑に推進する事業を行った。

- (1) 定時総会の開催 平成 24 年 6 月 2 日 (土)
- (2) 各種会議

- ① 総会
- ② 役員会(正副会長会、理事会、)
- ③ 元老・相談役・参与会議
- ④ 部 会 (総務部・財務部)
- ⑤ 懇談会

青年部員懇談会

都府県連合会代表者会議

都府県連合会連絡協議会

- ⑥ 財政健全化検討委員会

- ⑦ 法人体制整備委員会